

1 目的

これまで茶業を取り巻く厳しい現状を打破するため、販売向上のために、首都圏等で消費者へのグループインタビューを実施し、消費者の関心を高めるための方策を検討してきた。

平成27年度は、より良い商品づくりによる高付加価値化と情報発信等について、戦略づくりを行うとともに、実践活動に取り組んだ。

2 実施状況

(1) 新たな独自銘柄茶の開発

消費者を対象としたアンケート調査を実施し、得られた結果を基に、高級感のあるパッケージと、おしゃれで親しみやすい2パターンのパッケージと、薩摩さみどり会のロゴマークが完成した。



(2) 荒茶仕上げ技術の向上

審査器具を整備し、茶審査技術向上のための研修会や荒茶仕上げの際の技術向上研修を開催し、品質の安定した商品を提供できるよう技術向上に努めた。



(3) 消費地におけるPR活動

遊楽館で「百円茶屋」にお茶を提供すると共に、薩摩さみどり会の仕上げ茶の試飲・販売を行い、地域の茶のPRに努めた。



3 今後の課題、取り組み

今後とも、各種技術向上に努めていくと共に、新たに作成した「新パッケージ及びロゴマーク」を最大限に活用しながら、薩摩地域の茶業振興に努めていきたい。